



宇部市

「人事異動時の 作業負担が ほぼゼロに」

山口県宇部市では、人事給与システムの組織/職員情報を基にADMS IDM を使って、LGWAN接続系のActive Directory(以下、AD)、サイボウズガルーン、外部システム(二要素認証、無害化・転送システム)、及びBOXへのID、アクセス権の管理を実現しています。ADMS IDMを導入した経緯と効果について、総務部デジタル推進課の安達様、白石様にお話を伺いました。



左から
宇部市 総務部 デジタル推進課 副課長 安達佳二氏
宇部市 総務部 デジタル推進課 DX推進係 主任 白石悠介氏

業種
自治体

ユーザー数
1000ユーザー

URL
<https://www.city.ube.yamaguchi.jp/>

Point

- 経緯** 年度末人事異動時の作業負荷削減とセキュリティ対策を講じるため、自動対応が可能なID管理ツールの導入検討を開始。
- 導入** 他社製品と比べ製品の柔軟性が高かった。連携できるシステムが豊富で拡張性が高いところ、登録する情報によって自動登録するもの、手動登録するものなど複数のインプット対応が可能などところなどに柔軟さを感じた。
- 効果** ID登録作業の負担がほぼなくなり、作業の引継ぎが簡単になった。
- 導入サポート企業** ネットワンシステムズ株式会社

宇部市 プロフィール

宇部市は人口約157,000人、明治時代から石炭産業で発展し、令和3年に市政施行100周年を迎えました。山口県の南西部に位置しており、北部の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。南部はおだやかな瀬戸内海に面し、漁港や海水浴場、また山口県の玄関口である山口宇部空港を有しています。

また、公害克服に向けた市民運動から昭和36年に誕生した野外彫刻展「UBEビエンナーレ」は、令和6年3月に、世界で最も長く続いている野外彫刻展としてギネス認定されるなど、アートや彫刻といった文化芸術にも力を入れています。

導入の背景について

年度末人事異動時の AD 更新作業は手動と手作りのスクリプトを動かすことで対応していました。しかし、この作業は何日もかかり、夜通し対応になることもあるなど作業負荷の高さに頭を悩ませていました。またセキュリティ面でも課題がありました。登録の抜け漏れが出てしまう、新規職員以外の退職者、異動した職員の登録まで手が回らないなどの状況がありました。そこでこれらの課題を見直すため、ネットワンシステムズ株式会社(以降ネットワンシステムズに省略)に相談しました。ネットワンシステムズの提案で、ID 登録作業の自動化、都度対応の運用見直しができる ID 管理製品を導入することになりました。

製品決定理由

ID 登録作業の自動化ができる製品として、ネットワンシステムズより ADMS の紹介を受けました。ADMS を評価したポイントは製品の柔軟性の高さや拡張性でした。ADMS は、AD への連携はもちろんのこと、それ以外のシステムへの連携が可能であり、多数の連携モジュールが用意されていることや、モジュールがないシステムに対しても CSV 出力にて連携でき、レガシーなシステムへの連携も可能でした。将来、利用するシステムが変更したり増えたりしても対応できると考えました。また、人事情報の登録も、登録する職員の種類によって登録方法を自動登録、手動登録と変えることができる点も柔軟性が高いと感じました。他社製品と比較しても、柔軟性の高さは ADMS が優れていました。

導入効果について

導入をしてみて、大きく二つの効果を実感しています。

一つ目は、人事異動時の ID 登録作業の負荷がほぼかからない状態になりました。夜中までかかっていた作業は、日中に完了するようになりました。また、事前作業ができるため当日対応の必要もなくなりました。年度末や 7 月 1 日以外の組織変更が伴わない作業については、庁舎での待機も不要となりました。

二つ目は、引継ぎが簡単になったことです。1 枚の紙に収まる程度の情報をまとめたマニュアルだけで、担当者が不在でも問題なく引き継げるようになりました。以前は、この職員がいないと対応ができない、という人的リスクがある状態でしたが、そういったリスクを解消できる仕組みを整えることもできました。

弊社サポートについて

丁寧に作業を進めていただいた印象を持っています。例えば、イレギュラーパターンのある組織におけるシステムの自動連携を実現させるためには、階層権限の付与をやってみて、直してという作業工程が必須でした。その作業では相談しながら、何度も打合せの場を設け、柔軟に対応いただいたと感じています。また BOX への連携は、運用が開始されてからも見直しの相談に乗っていただきました。

稼働後に見えてくる課題は必ず出てきます。その課題に対応して初めて本格的に使えるシステムになると考えるため、ジインズ社は大変柔軟かつ実運用に即した対応をしていただけた企業と感じました。

その他導入事例や製品のご紹介はこちら

<https://adms.jins.co.jp/> または